

公共事業等施行状況調（令和3年6月末）

県 分

（単位：百万円、％）

工種区分	年 度	予 算 措 置 額				本工事費契約額及び契約率 (6月末)				備 考
		事 業 費		本 工 事 費		3年度 C	C/A	2年度 D	D/B	
		3年度	2年度	3年度 A	2年度 B					
1	治山・治水	24,944	25,414	15,541	16,889	5,589	36.0	5,287	31.3	
2	農林・水産	30,988	30,213	22,974	24,248	4,708	20.5	5,262	21.7	
3	道 路	51,428	55,349	30,691	33,731	12,078	39.4	11,799	35.0	
4	港湾・空港	6,973	6,928	3,319	3,525	1,295	39.0	1,341	38.0	
5	下水道・公園	9,525	8,556	2,468	2,554	112	4.5	616	24.1	
6	住 宅	1,805	2,090	1,309	1,485	864	66.0	1,034	69.6	
7	庁 舎	3,475	916	3,240	796	994	30.7	7	0.9	
8	土地造成	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
9	鉄道・軌道	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0	
10	学校・病院	19,321	9,602	13,666	7,301	2,217	16.2	521	7.1	
11	工業用水・上水道等	1,034	1,042	102	89	16	15.7	30	33.7	
12	災害復旧	211	57	203	0	108	53.2	0	0.0	
13	その他	9,672	8,310	6,705	5,072	2,488	37.1	702	13.8	
	計	159,375	148,477	100,218	95,690	30,469	30.4	26,598	27.8	

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

公共事業等県内県外別発注実績（令和3年6月末）

（単位：社、件、百万円、％）

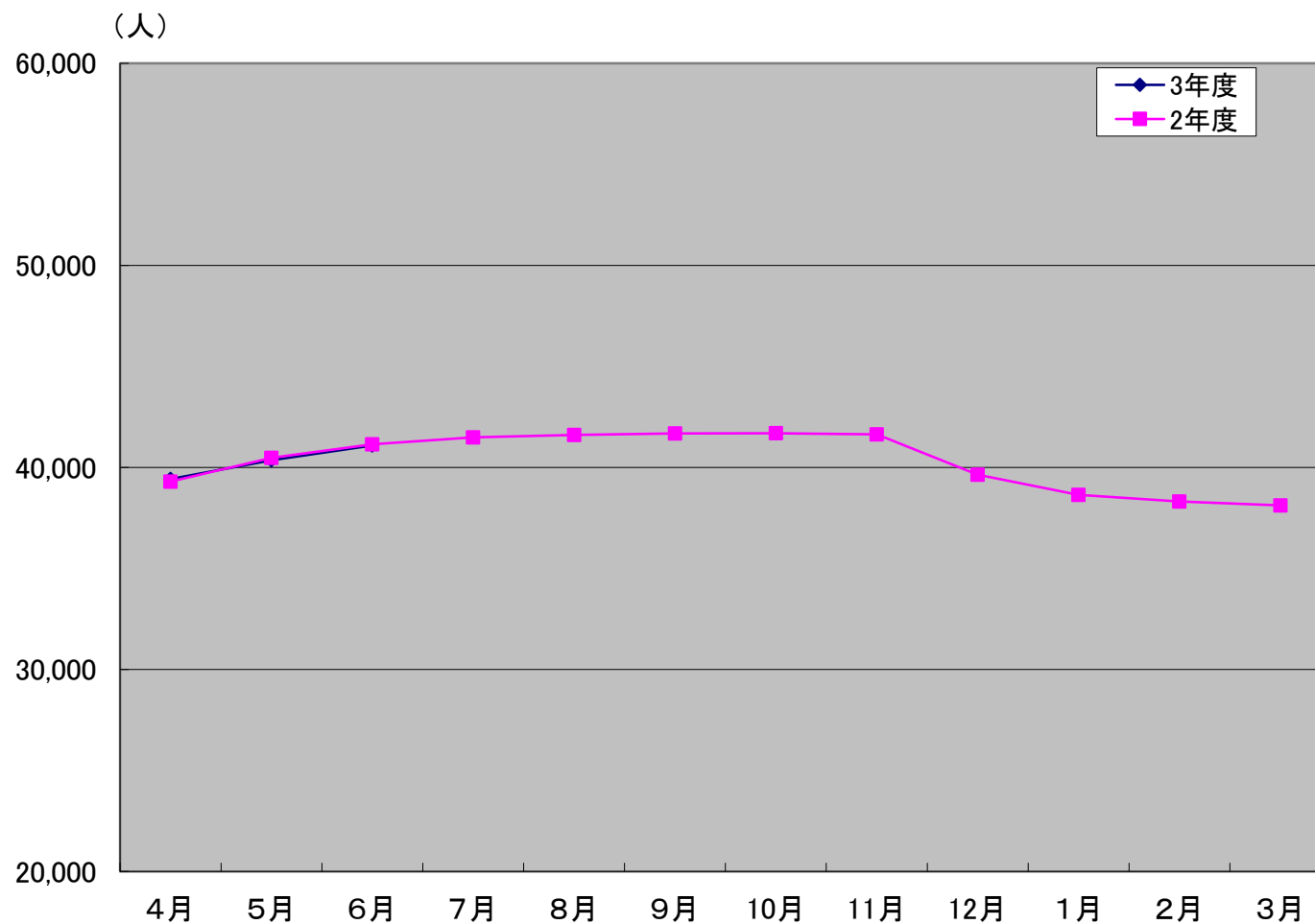
事項 区分	予算措置額 (A)		発注実績 合計 (B)											
	事業費	本工事費	県内 (C)			県外 (D)			共同企業体 (E)					
指名業者等			契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	指名業者等	契約	金額	
3年度	159,375	100,218	7,625	778	30,469	7,453	740	24,766	108	22	1,433	64	16	4,270
					B/A 発注率	C/B			D/B			E/B		
					30.4	97.7	95.1	81.3	1.4	2.8	4.7	0.8	2.1	14.0
前年度比	107.3	104.7	96.4	106.0	114.6	95.9	105.4	111.8	161.2	129.4	117.0	97.0	106.7	132.2
2年度	148,477	95,690	7,907	734	26,598	7,774	702	22,143	67	17	1,225	66	15	3,230
					B/A	C/B			D/B			E/B		
					27.8	98.3	95.6	83.3	0.8	2.3	4.6	0.8	2.0	12.1

被保険者数

	3年度	2年度
4月	39,424	39,303
5月	40,359	40,467
6月	41,085	41,148
7月		41,492
8月		41,611
9月		41,687
10月		41,689
11月		41,636
12月		39,646
1月		38,642
2月		38,307
3月		38,119

前月末被保険者数	40,359
資格取得者数	1,191
資格喪失者数	483
転入者数	28
転出者数	10
今月末被保険者数	41,085

雇用動向(建設業における雇用保険の加入動向)6月末



建設資材の需給・価格動向調査 (3年6月)

	需給動向									価格動向									備 考							
	青森			弘前			八戸			県平均			青森			弘前				八戸			県平均			
	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	緩 和	均 衡	逼 迫	上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落		上 昇	安 定	下 落	上 昇	安 定	下 落	
セメント		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の4月の販売量は3万2千トン(セメント協会調べ)で前年同月比22.2%の増。メーカー各社は、過去の値上げ未達分の浸透を目指し、需要家と交渉を続けている。しかし、主たる需要家の生コンメーカーは、骨材調達などのコスト増加が経営を圧迫しているとして、値上げに対して慎重な姿勢を崩していない。交渉には時間を要する見通しで、先行き、横ばいの公算が大きい。
コンクリート製品		○			○			○			○			○			○			○			○			道路工事向け、農業土木工事向けとも昨年度比で県内出荷は減少している。ヒューム管メーカーは人件費や鉄筋などの原材料コストの上昇などを理由に値上げ交渉を継続してきた。当初、需要家は値上げに、難色を示していたが、ここにきて値上げを受け入れた。先行き、横ばいの公算大。
生コンクリート		○			○			○			○			○			○			○			○			県内の5月の出荷量は5万6千m3(生コン工組調べ)で前年同月比25.1%増。一部の地域では風力発電および、使用済核燃料再処理工場向けの出荷が好調である。しかし、その他地区の一般物件の需要は例年並みもしくは例年の出荷量を下回っている。こうしたなか、一部のメーカーは製造・輸送コストの増加を理由に値上げを打ち出しているものの、需要家の反発が強く値上げ交渉は難航している。先行き、横ばいの公算が大きい。
砕石		○			○			○			○			○			○			○			○			需要は道路補修などの小口物件が中心で低調に推移。工事量の減少を理由に需要家の指し値は厳しいものの、メーカー各社は出荷量減による固定費率や人件費の上昇、燃料の高止まりを背景に現行価格を維持する姿勢。先行き、横ばいの公算が大きい。
小棒		○			○			○			○			○			○			○			○			SD295・D16でトン当たり88,000円と前月比9,000円の上伸。原料である鉄スクラップの価格は、5月中旬から大幅に上昇。メーカーは採算悪化に対する危機感を一層強め、相次いで販売価格を大幅に引き上げた。需要家は急激な値上げに難色を示したが、流通筋がメーカーに追従し売り腰を強めたことで、値上げ額の一部が浸透した。メーカー、流通筋ともに採算確保のため、値上げ未達分の早期浸透を目指し、強い販売姿勢を維持する構え。目先、強含みの公算が大きい。
アスファルト		○			○			○			○			○			○			○			○			5月の県内出荷量は4万6千トン(合材協会調べ)で前年同期比22.3%の増。一部メーカーは原材料であるスタスの価格上昇を受け、販売価格に転嫁すべく需要家との交渉を継続している。工事量増は今後も期待薄と見込む需要家は、採算を確保するため、値上げに対して反発を強めている。双方の綱引きは、しばらく続くとの見方が強く、先行き、横ばいの公算大。
木材			○			○			○			○			○			○			○			○		管柱 杉(KD)3.0m×10.5×10.5cmでm3当たり78,000円と前月比5,000円の上伸。2カ月連続の値上がりとなった。4月の県内新設住宅着工戸数は637戸で前年同月比6.7%の増加(国土交通省調べ)。ウェイトの高い持家が前年同月比12.4%の減少、それに次ぐ貸家が同24.5%の増加となっている。米国の戸建て需要の活況、中国経済の急回復を背景に世界的に木材需要が急拡大し、木材輸入量が不足。さらにコンテナ不足、船舶運賃上昇も加わり輸入木材が高騰している。その代替として注目が集まる国産木材は供給が追いつかず、需給タイト化で全面高の様相。供給正常化には時間を要しそうで、先行き、強含み。
油類		○			○			○			○			○			○			○			○			軽油はミニローリー渡りでリットル当たり105円、重油はローリー渡りで66円と共に前月比1円上昇した。欧米を中心とする新型コロナウイルスのワクチン接種進展で景気への楽観が広がり、原油相場が上昇。元売り各社は仕切価格を引き上げ、流通筋も追従した。米国や中国の需要は回復傾向で、主要産油国による産油量引き上げも小幅のため足元の相場は上昇基調。一方、イランの原油生産再開の可能性など、さらなる原油相場上昇には懐疑的な見方もある。目先、横ばいの見通し。
型枠合板			○			○			○			○			○			○			○			○		12×900×1,800mm輸入品で枚当たり1,420円と前月比50円の上伸。5カ月連続の値上がりとなった。4月の輸入合板入荷量は21万4千m3(財務省調べ)で前年同月比7.4%の減少。世界的なコロナ禍の状況下、現地の労働者不足により、供給量が減少。さらに積み出し港のコンテナ不足が解消されず、入荷量は低水準のまま推移。市中在庫の減少で市中の品薄感が拡大するなか、流通筋が仕入れの上昇分を販売価格に転嫁する動きを強めたため、続伸した。こうした状況が改善して入荷量が急速に回復する可能性は低く、目先、強含みの公算大。
形鋼		○			○			○			○			○			○			○			○			200×100でトン当たり94,000円と前月比6,000円の上伸。原料価格の上昇などを背景に、主力電炉メーカーが大幅な値上げを表明した。他メーカーも同調したため、流通筋は急ピッチで販売価格を引き上げた。需要低迷の環境下ではあるが、採算悪化の回避に向けた流通筋の足並みに乱れはなく、値上げ額の一部が浸透した。メーカー各社は今後も価格優先の販売姿勢を維持していくものとみられ、流通筋も引き続き強い売り腰で未転嫁分の値上げ交渉を継続する構え。目先、強含みの公算大。

(価格動向欄の上昇・下落は、3%以上の変動とする。)

建設資材の需給・価格動向調査 (3年6月)

区 分	品 名 ・ 規 格	単 位	青 森		弘 前		八 戸		県 平 均		備 考
			価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	価 格 (円)	前月比 (%)	
セメント	バラセメント(普通ポルトランド)	t	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	13,400	0.0	
セメント	袋物セメント(普通ポルトランド)25kg入	袋	480	0.0	480	0.0	480	0.0	480	0.0	19,200円/t
コンクリート製品	U形側溝300B L=1m	本	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	2,790	0.0	
コンクリート製品	ベンチフリューム400型 L=2m	本	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	5,290	0.0	
コンクリート製品	ヒューム管B型 φ600 2.43m	本	36,000	15.8	36,000	15.8	36,000	15.8	36,000	15.8	外圧管1種
生コンクリート	18-8-40	m3	12,900	0.0	11,800	0.0	14,600	0.0	13,100	0.0	
砕石等	洗砂	m3	3,100	0.0	3,000	0.0	4,300	0.0	3,467	0.0	
砕石等	コンクリート用砕石 25~5mm	m3	3,900	0.0	3,700	0.0	4,600	0.0	4,067	0.0	
砕石等	切込砕石 40~0mm	m3	2,700	0.0	2,800	0.0	3,200	0.0	2,900	0.0	
小形棒鋼	普通丸鋼SR235 φ13mm	t	111,000	7.8	111,000	7.8	111,000	7.8	111,000	7.8	
小形棒鋼	異形棒鋼SD295A D16~25mm	t	88,000	11.4	88,000	11.4	88,000	11.4	88,000	11.4	
アスファルト	ストレートアスファルト 針入度60~100	t	80,000	0.0	80,000	0.0	80,000	0.0	80,000	0.0	60~80
アスファルト	アスファルト混合物 密粒度13	t	12,800	0.0	13,100	0.0	12,700	0.0	12,867	0.0	128,670円/10t
木 材	管柱 杉(KD) 長3m×厚10.5cm×幅10.5cm	m3	78,000	6.8	78,000	6.8	78,000	6.8	78,000	6.8	
油 類	軽油(ミニローリー渡し)	L	105.0	1.0	105.0	1.0	105.0	1.0	105.0	1.0	105,000円/kl
油 類	重油(ローリー渡し)	L	66.0	1.5	66.0	1.5	66.0	1.5	66.0	1.5	66,000円/kl
型枠合板	12×900×1800mm	枚	1,420	3.6	1,420	3.6	1,420	3.6	1,420	3.6	
H形鋼	SS400 200×100×5.5×8mm	t	94,000	6.8	94,000	6.8	94,000	6.8	94,000	6.8	

建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

表-1 [小型棒鋼・H形鋼]

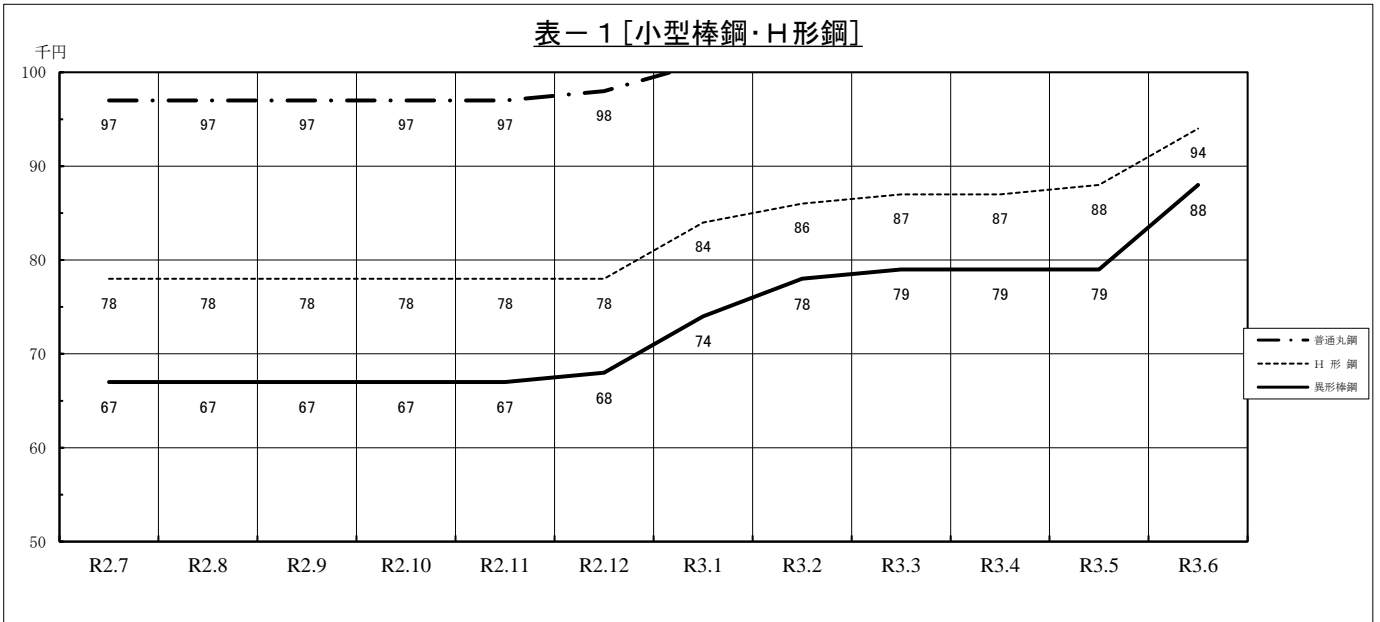


表-2 [セメント・生コン]

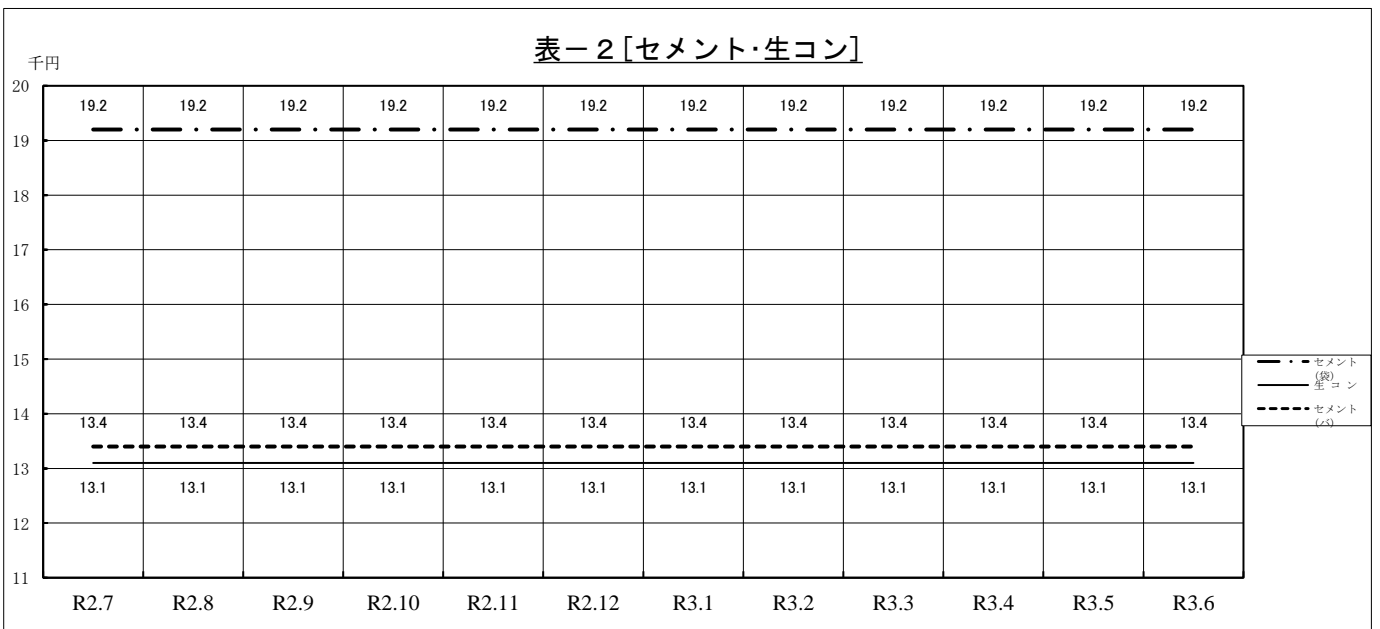
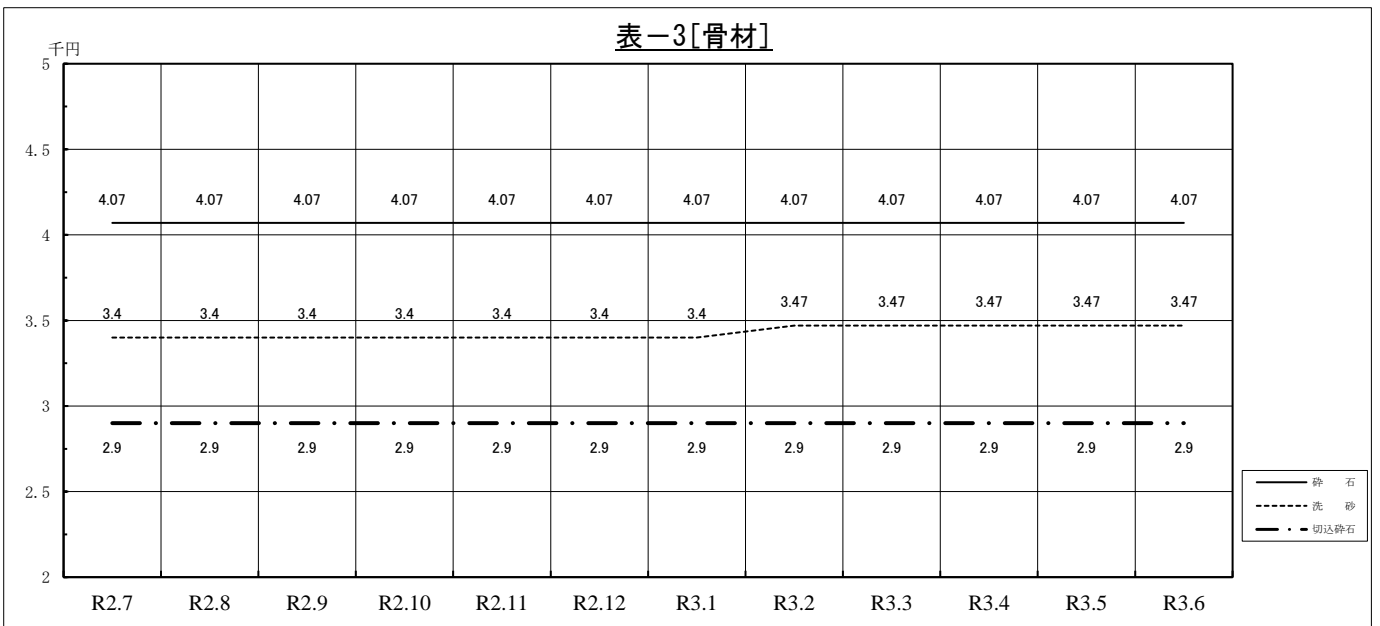


表-3 [骨材]



建設資材需給・価格動向調査結果（県内平均）

